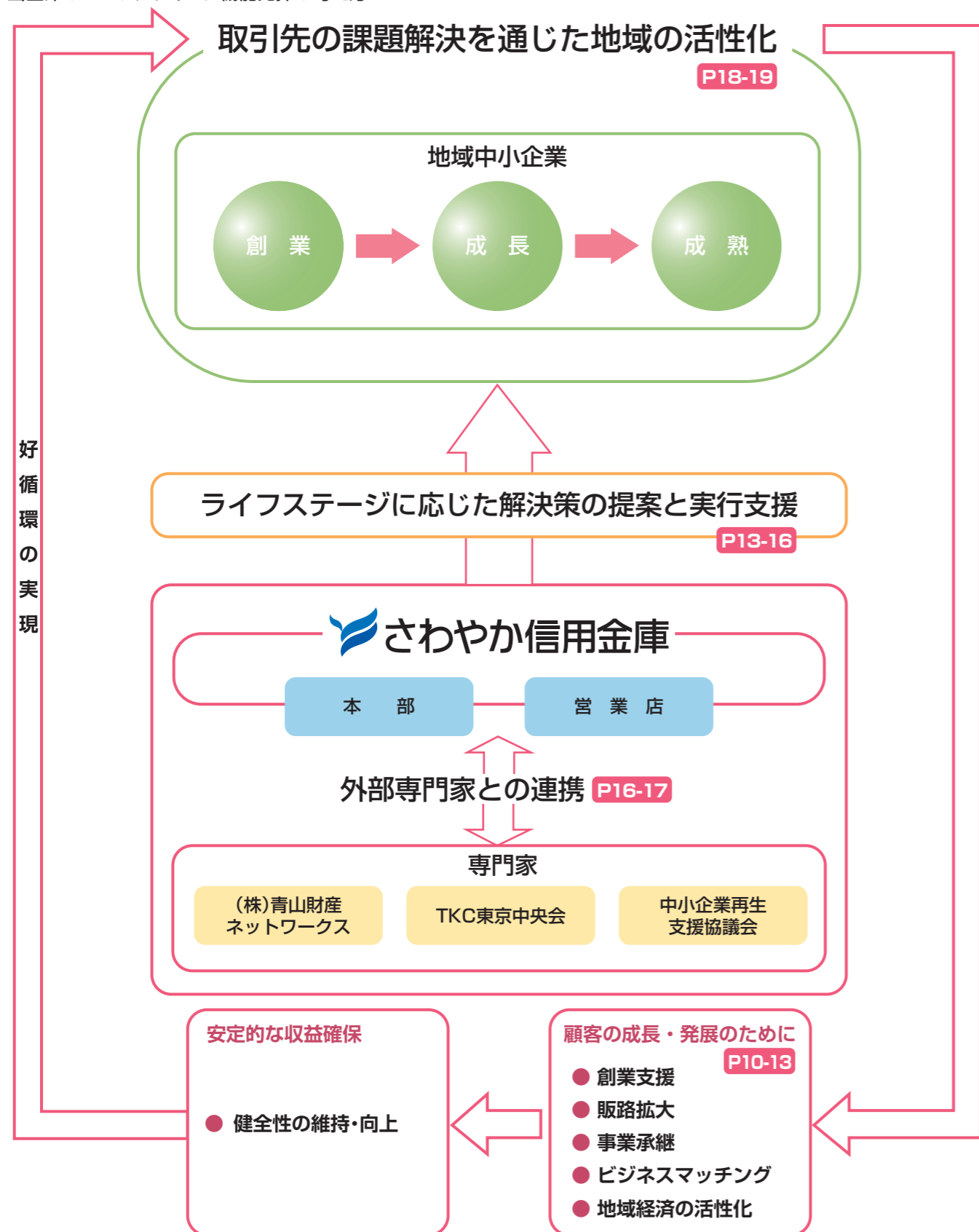


お客さま支援

当金庫は、中小企業専門の地域金融機関として資金供給者の役割を果たすとともに、地元の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に貢献する地域密着型金融を推進しております。

中小企業の経営支援に関する態勢整備

当金庫のコンサルティング機能発揮の考え方



顧客の成長・発展のために

当金庫はお客さまのさまざまな課題の解決に積極的に取り組んでいます。



支援事例

■新規事業参入への支援事例

お客さまのご要望

パン小売業への電力供給を検討している。事業化するためにはどのようにしたら良いだろうか？

当金庫からのご提案

新規事業への参入であり、将来の収支を調査し、事業の実現可能性を評価する必要がある。そのために、事業性評価の専門家である信金キャピタル㈱を紹介することとした。

具体的アクション

約2ヶ月程度、信金キャピタル㈱で自社の事業の将来性を詳細に評価(事業性評価)し資金調達ができることとなった。新規事業参入のため約定并済の生じないファンド資金が有効であると判断し、信金キャピタル㈱の投資ファンド「しんきんの翼」の利用を提案した。

課題解決方法

将来の事業性を評価し、当金庫と信金キャピタル㈱との資金調達により新規事業に参入可能となった。



✓ 成功のポイント

信金キャピタル㈱利用の提案が功奏した。本件の成功要因は代表者の事業に対する熱意、計画性、実現性を正しく事業性評価できたことに尽きる。

■不動産活用による業態転換支援事例

お客さまのご要望

小売業を営んでいるが、大手インターネット通販の台頭等により競合環境が厳しくなってきた。今後どのような展開をしていけば良いのか教えて欲しい。

当金庫からのご提案

1. まず、小売業の改善のため国が設置する経営相談窓口の「よろず支援拠点」と連携し経営改善策づくりに着手した。
2. 当初は小売業の経営改善を多面的に提案したが、小売業から不動産賃貸業へと業態転換した方が収支面で有利と判断。店舗の有効活用に注力することとなった。

具体的アクション

1. 不動産会社と連携し、売却と賃貸の両面から検討した。
2. 店舗の立地が近隣に病院、学校などがあり住環境に優れ、かつ、一定の商圏人口が確保されていることから、住宅地として評価される売却よりも店舗としての賃貸の方が有効活用が図れると判断された。

課題解決方法

● 他業種の店舗運営会社とは20年の賃貸契約が締結でき、長期安定経営となった。
● 小売業からの業態転換に伴い一時的には費用は発生するものの、その後は税制面でメリットを十分に活用した収支計画が立案できた。



✓ 成功のポイント

● よろず支援拠点による小売業改善支援、不動産会社による不動産売却支援など外部提携先と連携した。
● 借入期間の見直しや税制面でメリットを活用したことで、資金繰りを良好化させる計画が立案できた。

■クラウドファンディング活用支援事例

お客さまのご要望

会社の社長からのご相談。自社オリジナル商品(新商品)を開発したが、消費者向け商品の販売ノウハウが無い。どうしたら売れるだろうか。

当金庫からのご提案

新商品に対しインターネットを通じて先行の購入者を募り、資金調達を行うクラウドファンディングという仕組みの利用を提案した。

具体的アクション

インターネット上でのプロジェクト(新商品販売)公開が必要となるため、その準備作業として、新商品の販売価格の設定と訴求力のある商品パッケージ作成の支援を行った。また、受注体制構築の確認をした。

課題解決方法

クラウドファンディングにより、目標金額(500千円)を大幅に上回る1,700千円超(240人以上が購入予約)の資金が集まった。クラウドファンディングによるテストマーケティングの結果、購入者の反応がわかり、新商品販売ノウハウを得ることができた。



✓ 成功のポイント

自社オリジナル商品に対する「世の中に広め社会の役に立ちたい」という社長の熱い想いを、クラウドファンディングにて実現できたこと。資金調達に加えて、実際の購入者を通じた新商品の大きな手応えを感じることができた。

■従業員への事業承継支援事例

お客さまのご要望

事業承継のご相談。D社とF社を営む社長には、実子がいないため、D社の幹部(親族以外の第三者)へ事業承継をしたいが株式評価額が高額であり株式買収が難しい。どうしたら良いだろうか？

当金庫からのご提案

D社の関連会社で総務・経理を業とするF社を活用して後継者に株式を移していく。

具体的アクション

株式評価への対応を含んだスキームを構築した。具体的には以下の2点を実施した。
① D社の関連会社で総務・経理を業とするF社を親会社とする持株会社化を行う。
② D社の株式評価額対策を実施した。

課題解決方法

社長からの株式買収資金としてF社に融資を実行。D社はF社の完全子会社となった。株式評価額対策効果もあり、第三者である後継者への株式譲渡がしやすくなる環境を整えた。

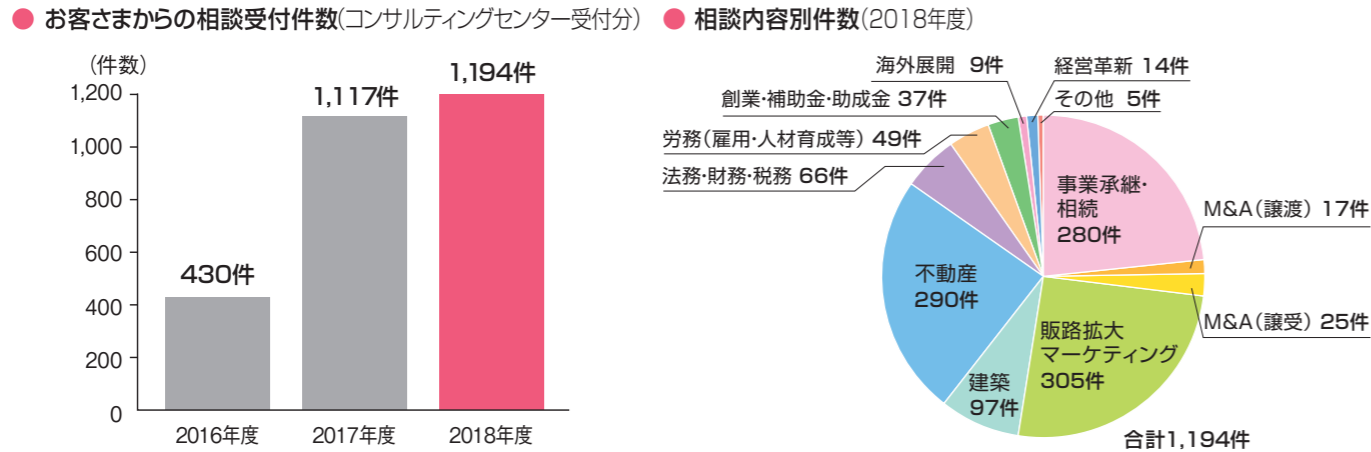


✓ 成功のポイント

株式評価額が高額な優良取引先は株式譲渡に伴う税負担がネックとなって事業承継が困難となるが、株式評価額対策に着目した。

■コンサルティング関連の相談受付実績

当金庫では、「新三位一体改革」の重要課題である課題解決型営業への転換を推進しております。



■ライフステージに応じた解決策の提案と実行支援

創業のご支援

■「創業フォローアップセミナー」の実施

当金庫では従来より創業者に対するフォローアップ強化を目的に日本政策金融公庫と連携を図ってまいりました。

2018年度は、主に創業5年以内のお客さまを対象に、全3回の「創業フォローアップセミナー」を開催し、合計178名の方々にご参加いただきました。

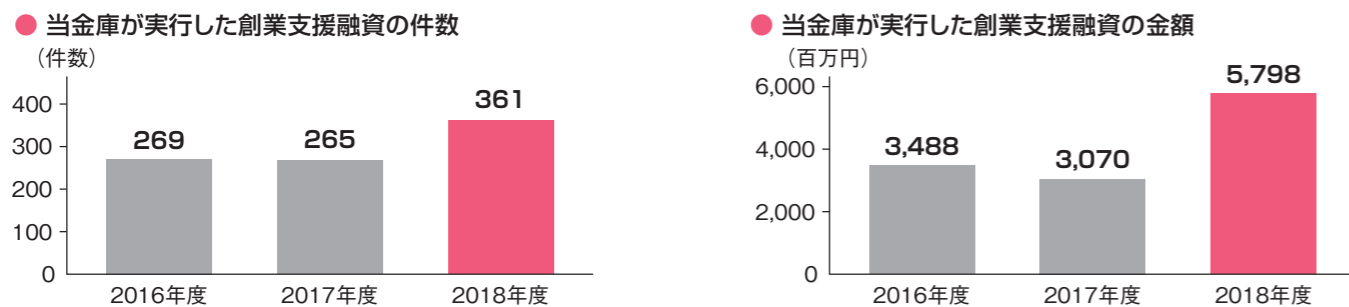
全3回の講義ではそれぞれ「事業を軌道に乗せるための会計の知識」「中小企業のためのビジネス拡大術」「中小企業の人材確保と人材育成」をテーマに実際の成功事例を交えた講義が行われ、また先輩創業者からの実体験をもとにした講演もありました。

今後ともさわやか信用金庫はさまざまな面で創業者の皆様のサポートに努めてまいります。



【創業フォローアップセミナー(第2回)
「中小企業のためのビジネス拡大術」】
開催日:2018年9月12日

■創業支援融資の取扱件数・金額



成長・成熟期のご支援

■「第14回ビジネスフェア」・「第9回さわやか信用金庫物産展」の開催

2018年10月5日大田区産業プラザPiOにて、「第14回ビジネスフェア」・「第9回さわやか信用金庫物産展」を開催しました。物産展は、約2,100名のお客さまにご来場いただきました。

ビジネスフェアではお取引先45先が参加し、商談件数は127件となり、充実した商談会となりました。



▲テープカットの様子



▲ビジネスフェアの様子



▲物産展の様子

■事業主会 令和リーダーズクラブの発足

若手経営者を対象とした「事業主会 令和リーダーズクラブ」を2019年4月に発足いたしました。会員相互が親睦を深め、勉強し合うことにより、新たなビジネスチャンスを発見し、会員企業の発展及び地域社会の繁栄に貢献することを目的に開催してまいります。第1回目の会合を新羽田本部ビルで開催いたしました。会場は若手経営者の熱気につつまれました。



事業主会 令和リーダーズクラブの発足

■さわやか塾

さわやか塾では、年間7回の勉強会、経営情報誌、無料経営相談会などを通じて、次世代を担う若手経営者の方に対して経営手法、ノウハウ等を体系的に身につけるサポートや、異業種交流の場をご提供させていただいております。

2012年度から開始し、延べ177名の卒業生を輩出し、2019年5月より第8期が22名でスタートしております。



■事業性評価への取組み

当金庫では、担保・保証に必要以上に依存することなく、お客さまの事業内容や成長可能性などへの適切な評価に基づく融資や助言により、お客さまの成長を支援させていただいております。

● 事業性評価を行う人材の育成 (2019年3月31日時点)

資格名称	取得者数	取得率
中小企業診断士	20名	1.8%
事業承継アドバイザー3級	82名	7.5%
事業性評価3級	314名	28.7%

● 事業性評価シートの作成先数(法人) (2019年3月31日時点)

作成年度	作成先数	作成率
2018年度	486先	5.3%
2018年度までの累積	880先	9.6%

経営ご支援

■経営支援(再生・改善)事例

● 業種：卸売業 ● 創業後年数：50年

経営支援(再生・改善) 前の企業の状況

A社は業務用食品の卸売を主力事業としているが、売上の伸び悩みと利益率の改善が主要な経営課題であった。原因を分析したところ、①既存取引先に対する御用聞き営業が主であり、自社からの提案営業方法が確立していないこと、②新規取引先開拓方法が属人的で営業担当者によってバラツキがあること、③予算実績管理が徹底されていないこと(マネジメント不足)が主因であった。また、次期後継者への事業承継に取組むことも課題であった。

経営支援(再生・支援)の概要(金庫の施策)

当金庫業務提携先のコンサルティング会社と連携を図り、①外部環境及び内部環境を踏まえた現状分析、②会社のあるべき姿やなりたいたい姿を確認し、現状とのギャップは何か、③問題を解決するために乗り越えなければならない課題は何かについて、現代表者及び次期後継者候補の経営幹部複数と繰り返し対話を行い共有していった。

経営支援(再生・支援)の概要(当該企業の施策)

現状分析に基づき、今後5年間の中期販売計画とアクションプラン(行動計画)を策定した。具体的には、①取引先(業態)毎の売上粗利目標策定、②重点管理営業エリアの明確化、③新規取引先開拓のための営業ツールの策定やブランディング強化、④既存取引先への提案営業方法の確立などを策定し、マネジメント層による予算実績管理を徹底するための社内体制を整備した。

経営支援(再生・改善)後の企業の状況

経営改善に取組んだ結果として、直近決算における売上高対前期比8%増加、同粗利益額2%増加と改善効果が表れており、中期経営計画を実行する中で更なる改善が見込まれている。また、今回の取組みによって会社の経営を安定させ次の世代に繋ぐ道筋が付いたことから、今後は事業承継に向けた具体的な取組みが課題となる。

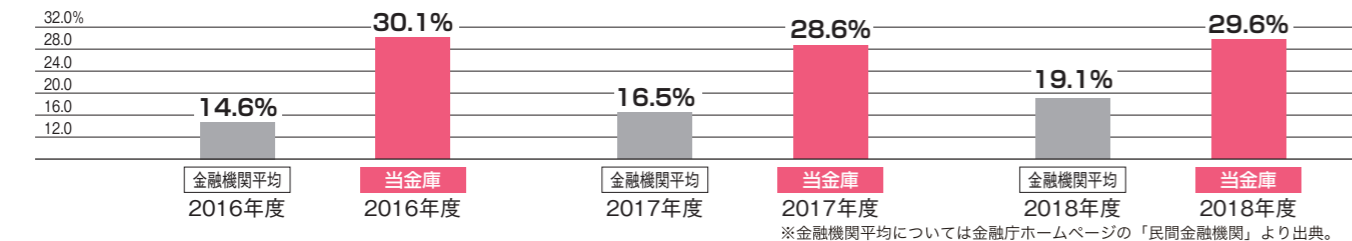
■経営改善支援等の取組み実績(2018年4月～2019年3月)

	期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	aのうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
正常先	① 7,815	29		27	7	0.4%		24.1%
要注意先	② 5,970	189	13	168	168	3.2%	6.9%	88.9%
	③ 46	16	2	12	5	34.8%	12.5%	31.3%
破綻懸念先	④ 816	73	6	65	49	8.9%	8.2%	67.1%
実質破綻先	⑤ 115	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻先	⑥ 33	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
小計(②～⑥の計)	6,980	278	21	245	222	4.0%	7.6%	79.9%
合計	14,795	307	21	272	229	2.1%	6.8%	74.6%

■「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借り入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

● 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合 — 当金庫と金融機関平均の比較 —



■中小企業等への金融円滑化への取組みについて

～ これからも、今までも変わらないきめ細かな対応をいたします ～

中小企業金融円滑化法は2013年3月31日に期限が到来しましたが、引き続き地域金融の円滑化に取り組んでまいります。

● 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の件数 (2019年3月31日現在)

中小企業者	(単位:件)					住宅資金借入者	(単位:件)				
	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ		申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	68,576	65,274	1,438	205	1,659	1,784	1,634	82	2	66	

※詳細については、当金庫ホームページをご覧ください。

■品川区主催 事業承継セミナー

2018年7月18日及び11月14日に、主催品川区、共催当金庫で「事業承継セミナー」を当金庫目黒支店3階コンベンションルームにて開催しました。テーマはそれぞれ「いちばん優しい事業承継【親子編】後継者に“やる気”スイッチを入れる!」「いちばん優しい事業承継【他人編】親族外の後継者が“真の経営者”に成長するポイントとは?」でした。事業承継に関心をお持ちの多くのお客さまが参加されました。



■外部専門家との連携

■外部提携機関等を活用した相談業務態勢

課題解決支援機関等

- 経営サポート、包括的な課題解決**
東京商工会議所 ビジネスサポートデスク / 地域プラットフォーム(ミラサポ) / 公益財団法人 東京都中小企業振興公社 株式会社 商工組合中央金庫 / 一般財団法人 品川ビジネススクラブ / 公益財団法人 大田区産業振興協会 独立行政法人 中小企業基盤整備機構(関東本部) / 東京都・神奈川県 よろず支援拠点
- 創業**
株式会社 日本政策金融公庫 / 公益社団法人 全日本不動産協会 東京都本部 / 東京都行政書士会
- 補助金**
株式会社 エフアンドエム / 東京商工会議所 ビジネスサポートデスク / 東京都・神奈川県 よろず支援拠点
- 新商品開発**
公立大学 産業技術大学院大学 / 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
- 販路開拓**
ビジネスフェア / さわやか信用金庫物産展 / イー・ギャランティー株式会社グループ / 株式会社 マクアケ(クラウドファンディング)
- ブランド力強化**
聖心女子大学(インターンシップ)
- 人事労務**
株式会社 スタッフコンサルティング / 公益財団法人 東京しごと財団
- 事業承継、M&A**
株式会社 タナベ経営 / さわやか塾(後継者育成) / 信金キャピタル 株式会社 / 株式会社 日本M&Aセンター 東京都事業引継ぎ支援センター(東京商工会議所本部内)
- 相続**
株式会社 青山財産ネットワークス / 税理士法人 レガシィ / TKC 東京中央会 / 東京税理士会 / 日本公認会計士協会東京会 提携している弁護士・税理士等
- 海外展開、海外販路開拓**
信金中央金庫 / 新輸出大国コンソーシアムハンズオン支援 / 独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)
- 建築、リフォーム**
積水ハウス 株式会社(建築・リフォーム) / 大和ハウス工業 株式会社(建築・リフォーム) 大成ユーレック 株式会社(建築・リフォーム) / 高松建設 株式会社(建築) / 高松テクノサービス 株式会社(リフォーム)
- 不動産**
大成有楽不動産販売 株式会社 / 野村不動産アーバンネット 株式会社 / 株式会社 ハウスメイトパートナーズ(不動産管理)

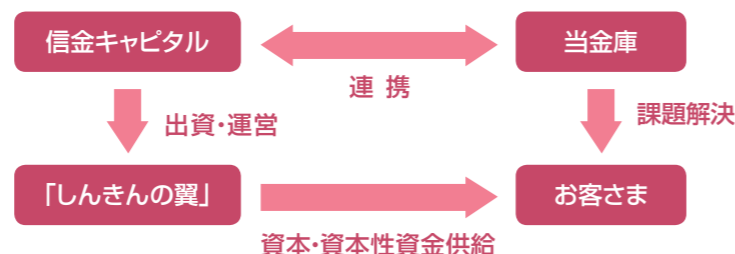
■「しんきんの翼」の活用

「しんきんの翼」とは、信金キャピタル(株)が運営する投資事業有限責任組合で、中小企業に対して資本または資本性資金を直接供給することを目的としております。

当金庫は、こうした外部機関とも積極的に連携し、お客さまの課題解決を図っております。

活用例

業種：パン小売店への売電事業
パン小売店への電力供給といった新規事業参入のため必要な運転資金の支援を受けました。



■TKCとの連携

当金庫は、全国1万人以上の税理士・公認会計士で構成されるTKCグループと業務連携しております。2018年度は各エリア別に事業承継・税制セミナーを全8回実施しました。

外部専門家と連携して、各種相談会も行っております。

「相続・事業承継相談会」…(株)青山財産ネットワークスと共催し、相続・事業承継・不動産運用など幅広い相談を受け付けております。

「M&A相談会」……… 信金キャピタル(株)と共催し、M&Aに関する相談を受け付けております。

「経営相談会」……… 東京都よろず支援拠点と共催し、経営についての幅広い相談を受け付けております。(原則東京都内の店舗のみ開催)

「補助金活用相談会」……… (株)エフアンドエムと共催し、人事労務に関する補助金・ものづくり補助金などの相談を受け付けております。

■コンサルティング能力の強化

外部専門家との連携とあわせて、職員のコンサルティング能力の強化に努めております。

1. 主な公的資格者数 (保有者数含む)

2019年3月31日現在

中小企業診断士	20名
社会保険労務士	6名
宅地建物取引主任者	101名
FP技能検定1級	19名
FP技能検定2級	478名
CFP	8名
AFP	35名
日商簿記1級	4名
日商簿記2級	134名
マンション管理士	4名
管理業務主任者	14名
その他 (行政書士他)	4名
計	827名

2. 事業性評価、M&Aなどコンサルティング関連の資格及び資格者数

2019年3月31日現在

経営支援アドバイザー2級	14名
リレーションシップバンキング (目利き)	2名
リレーションシップバンキング (中小企業支援コース)	4名
リレーションシップバンキング (事業再生コース)	1名
M&Aシニアエキスパート	1名
相続アドバイザー3級	166名
相続アドバイザー2級	2名
事業承継アドバイザー3級	82名
事業性評価3級	314名
事業性評価エキスパート	1名
計	587名

■第1回さわやか信用金庫ロールプレイング大会 (課題解決型営業)

2018年9月4日に大田区下丸子の大田区民プラザにて、職員の課題解決型営業の能力向上を図るため、第1回さわやか信用金庫ロールプレイング大会 (課題解決型営業) を開催いたしました。

職員ひとりひとりの能力の研鑽に努め、お客さまのさまざまな課題の解決に積極的に取り組んでまいります。



▲ロールプレイング大会の様子

■取引先の課題解決を通じた地域の活性化

■「とうきょう中小企業支援ファンド」

当金庫は、中小企業基盤整備機構及び東京都内地域金融機関などと共同で「とうきょう中小企業支援ファンド投資事業有限責任組合」(総額25億円)を設立して、中小企業の経営改善支援等に対し積極的に取り組んでおります。

■大田区ビジネスプランコンテスト

大田区ビジネスプランコンテストは、ユニークなビジネスプランを持つ優秀な創業者を発掘し、地域産業の発展を図ることを目的として大田区と公益財団法人大田区産業振興協会が主催しております。

当金庫は協賛団体として「さわやか信用金庫賞」を提供しております。



■品川区ウーマンズビジネスグランプリ

品川区では、女性経営者の可能性について広く周知し、優れたビジネスプランを発掘することを目的に、「ウーマンズビジネスグランプリ」を開催しております。

当金庫は協賛団体として「さわやか信用金庫賞」を提供しております。



■年金相談会・税務相談会・出前講座の開催

当金庫では、各種無料相談会を開催し、お客さまの課題解決に貢献しています。

- 年金相談会 120回(相談件数:664件)
- 税務相談会 28回(相談件数:47件)
- 相続・事業承継相談会 32回(相談件数:94件)
- M&A相談会 15回(相談件数:22件)
- 海外ビジネス相談会 1回(相談件数:4件)

当金庫では、地元のお客さまのニーズにお応えして、本部スタッフがさまざまな講座を「出前」しております。

その一例として、日野市商工会主催の「日野まちゼミナール」に協力し、年金に関する出前講座を開催いたしました。



■さわやか信用金庫公式マスコット誕生

第六次さわやか3ヵ年計画における情報発信力強化の一環として、さわやか信用金庫公式マスコットが誕生しました！

地域に幸せの花を咲かせ、暮らしに潤いをもたらせます



■「金融仲介機能のベンチマーク」に関する開示について

当金庫では、「金融仲介機能のベンチマーク」を活用して、地域金融機関としての金融仲介機能向上に対する取組みを本誌及びホームページにて、積極的に開示してまいります。

●「金融仲介機能のベンチマーク」の本誌該当項目

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 13ページ コンサルティング関連の相談受付実績 | 15ページ 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み |
| 13ページ 創業支援融資の取扱件数・金額 | 17ページ コンサルティング能力の強化 |
| 15ページ 経営改善支援等の取組み実績 | |

●ホームページアドレス <http://www.sawayaka-shinkin.co.jp/>

▶地域とともに

■地域貢献・社会貢献活動

■環境問題への取組み

「電力使用量を基準年度(2009年度)に対して、2020年度までに10.5%減、2030年度までに19.0%減」を目標に、LED設置等日々の業務活動において省エネルギー・CO₂削減に努めております。

●クールビズ、ウォームビズの実施

「クールビズ」(2018年5月～10月)及び「ウォームビズ」(2018年11月～2019年3月)を実施しました。

●スマート節電・耐震ビズの取組み

当金庫では、環境に配慮した設備やエコカーのご購入に対するご融資商品の提供を行っております。

※詳しくはお近くの営業店にお問合せください。



■地域ボランティア活動

目黒支店



地域の清掃活動

東糀谷支店



交通安全運動に参加

■しんきん成年後見サポート

一般社団法人「しんきん成年後見サポート」は、品川区に営業店を持つ5つの信用金庫と品川区社会福祉協議会などの協力により、2015年1月に発足し、当金庫のOB・OGが成年後見人として活動している組織です。

2018年3月には「成年後見サポート口座」、2018年7月には「後見制度支援預金」の取扱いを開始するなど、高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

■認知症サポーター

「認知症サポーター」とは、認知症について正しい知識を持ち認知症の方やその家族を支援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアのことで、「認知症サポーター養成講座」を受講することにより認定されます。当金庫の「認知症サポーター」は、2019年3月31日時点で700人であり、安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

■「さわやか信用金庫 女性活躍推進行動計画」の策定

女性が就業継続し、活躍できる雇用環境の整備を行うため、同計画を推進しております。

- 計画期間:2016年4月1日～2021年3月31日
- 定量的目標:管理職(課長級以上)に占める女性割合を2015年3月31日比2倍以上とする
- 女性の活躍の現状に関する情報公表
管理職に占める女性労働者の割合:4.3%(2015年3月31日現在)→6.8%(2019年3月31日現在)

■振り込め詐欺の防止

2018年度に、振り込め詐欺を未然に防止した件数は14件、警察署から表彰された件数は11件にのぼりました。今後も警察と協力し振り込め詐欺未然防止に力をいれてまいります。

■MINATOシティプロモーションクルー

港区は区の魅力やブランドを国内外に広く発信するため、12の団体を「クルー(仲間)」と位置づけ、その取組みを「MINATOシティプロモーションクルー認定事業」としております。当金庫は「クルー」に認定されており、港区内8店舗に「港区カタログスタンド」を設置し、港区の魅力を広く発信しております。

また、2018年12月2日に開催されました「MINATOシティハーフマラソン」に特別協賛企業として参加しました。

■お客さまの利便性・満足度向上

■お客さま満足度アンケート調査結果

当金庫では、お客さま満足度アンケート調査を行っております。ご来店いただいたお客さまの率直なご意見・ご要望をお伺いし、金庫の業務に積極的に反映させて、お客さまに愛され一層信頼される営業店づくりを目指しています。

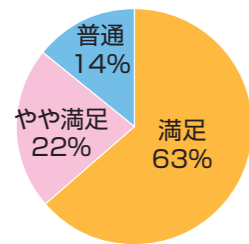
<アンケート調査結果>

1.アンケート調査の期間 2018年2月3日～12月14日

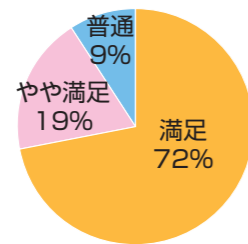
2.アンケート回答先数 1,000先

3.アンケート結果 ■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満

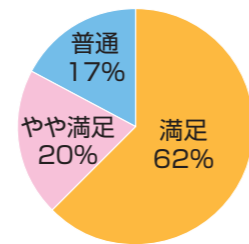
①店内の雰囲気はいかがですか



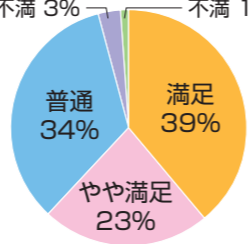
②職員の応対マナー(挨拶・言葉使い)はいかがですか



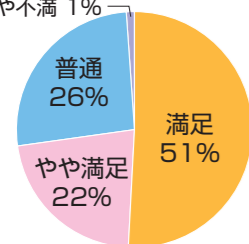
③職員の電話応対はいかがですか



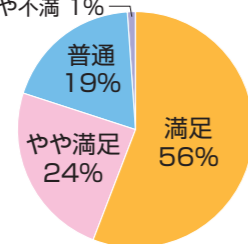
④当金庫の商品(預金・融資)に満足されていますか



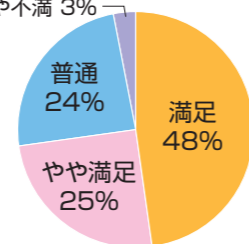
⑤職員の商品説明等に満足されていますか



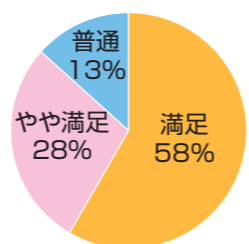
⑥ご相談やご質問への職員の回答に満足されていますか



⑦当店の店頭窓口の待ち時間はいかがですか



⑧総合的に見て、当店で満足されていますか



■AEDの設置

当金庫では、AED(自動体外式除細動器)の設置を行っております。2018年度までに延べ47店舗に設置しております。



美原支店 AED設置

■福祉用具の備え置き

2016年4月1日より、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行されました。当金庫は従来から「人にやさしい店舗づくり」に取り組んでおりますが、その一環として店頭では、簡易筆談器、コミュニケーションボード、音声拡聴器(助聴器)、耳マーク表示板、杖ホルダーを備え置きしてご利用いただいております。今後も、より一層すべてのお客さまが安心してご利用いただける、快適な店舗づくりを目指してまいります。



福祉用具

■危機管理態勢の高度化への取組み

大規模災害などによる不測の事態においても、事業継続のためにさまざまな取組みを実施しております。

帰宅訓練の実施

2018年10月～11月、全職員を対象に徒歩にて帰宅する帰宅訓練を実施いたしました。

参集訓練の実施

2018年11月17日(土)、緊急時対応訓練として、参集要員136名に指定された職員が、予め定められた店舗に、一斉に参集する訓練を実施いたしました。



緊急対策本部総合訓練

■「羽田支店・本部」リニューアルオープン

2019年3月18日に羽田支店・本部がリニューアルオープンしました。新しく建設された羽田ビルは、「地域にさわやかな風を」をコンセプトとして、地域の方々や職員にさわやかな風通しの良い「環境」を提供することを第一に考えました。



防災拠点として活用できるよう建物の耐震等級は通常の1.25倍と耐震性の高い建物となっております。また、緊急時に備えて発電機を準備するなどBCP対策を行っています。



省エネや環境に配慮し、太陽光発電設備を設置しております。

■業務効率化の実施

当金庫では以下の施策を実施し、業務効率化を進め、お客さまの負担軽減を図っております。また、効率化によって生み出された時間を課題解決型営業の充実にあてております。

■タブレット端末の導入

純新規口座作成に係るお客さまの記入負担の軽減や事務処理時間の短縮を図っております。



■電子稟議システムの導入

電子稟議システムを導入することにより、融資の稟議書をペーパーレス化しました。本部稟議は最大2日間の短縮が図れ、クイックレスポンスにつながります。現在11店舗で導入しており、2019年9月末までに全店導入が完了する予定です。

■相続事務の集中化

相続業務の集中化を図っております。関連会社のさわやかビジネスセンターに「相続サポートセンター」を設置し、専門スタッフがきめ細かく、的確に対応しております。また、お客さまの利便性向上のため、手続きの簡素化も併せておこなっております。

■出資証券のペーパーレス化

出資証券の保管負担軽減及び紛失・盗難等のリスクをなくし、諸手続きの簡素化を図りました。

